那覇港だより

な　は　みなと

２０１５．３
第 13 号

☆ ☆

目　次

☆ ☆

１　那覇港利用促進協議会の開催　・・・１

２　クルーズターミナルで名刺交換会の開催　・・・２

３　ガントリークレーン整備事業について　・・・３

４　三重城ふるさと海岸の紹介　・・・４

５　3 ヶ月連続の初入港！！　・・・５

６　那覇港管理組合議会議員紹介コーナー（４）　・・・６

７　那覇港とぴっくす（那覇港の動き、那覇港管理組合議会の動き）　・・・７

８　那覇港写真館　・・・８

那覇港に定着してきたクルーズ船停泊の風景

第 12 回那覇港利用促進協議会の開催

（企画建設部企画室）

那覇港管理組合では、第 12 回那覇港利用促進協議会（会長：山城博美（琉球海運社長））を平成 27 年 1 月 15 日(木)に那覇クルーズターミナルで開催いたしました。

「那覇港利用促進協議会」は使いやすい那覇港づくりに取り組むことを目的とし、行政機関、港湾利用者、港湾サービス提供者、及び港湾関係者の 44 団体で組織されています。同協議会は、専門的な事項を検討するため、「航行安全」「航路誘致促進」「国際コンテナターミナル高度化利用検討」「港湾施設利用促進」「企業誘致促進」「国際交流リゾート推進」の 6 部会を設けております。那覇港の利便性向上などの課題を検討するため、平成 14 年に設置された後、那覇港に関する事業の報告、那覇港管理組合事業計画の報告等について毎年協議が行われており、今年で第 12 回を迎えました。

協議会の状況

山城博美会長

今回の協議会では、那覇港管理組合から「那覇港総合物流センター基本設計について」「那覇クルーズターミナルに関連する整備状況について」「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014 特別賞の受賞について」、那覇港湾・空港整備事務所より「港湾整備事業(直轄)の進捗状況について」、沖縄総合事務局開発建設部より「クルーズ船による沖縄の振興」と題し、那覇港総合物流センターの設計事業、那覇空港滑走路増設事業、外国クルーズ客船の受け入れ整備事業の議事の報告がありクルーズの経済波及効果が期待されております。

議事報告のあとの意見交換では、那覇港の利用促進における課題について、設備の充実や港湾計画の長期構想について、ご意見をいただきました。那覇港管理組合では、今後も那覇港の利用促進における課題について、関係者と調整をしながら取り組んでいきたいと考えております。

那覇クルーズターミナルで那覇港振興協議会新年祝賀名刺交換会が開催されました！

（総務部総務課）

那覇クルーズターミナルは、クルーズ船客の入国手続き（ＣＩＱ）を行う施設として建設されましたが、クルーズ船のシーズンオフ時には、２階ＣＩＱホールを会議場や講演会等の多目的ホールとしての利用が期待されておりました。

このたび那覇港を利用する船社や港運会社等で構成する那覇港振興協議会（会長：山城博美（株）琉球海運社長）が平成27年１月14日に当ターミナルにて平成27年新年祝賀名刺交換会を開催いたしました。

会場設営にあたっては、ターミナル中央の防火シャッターでＣＩＱホールを区切り、ホール北側を会場にし、南側をバックヤードとして利用しました。

参加者は126名を数え、山城会長の主催者挨拶に始まり、那覇港管理組合 翁長 雄志 管理者による来賓挨拶（那覇港管理組合 金城 勉 常勤副管理者代読）、那覇港管理組合議会 赤嶺 昇 議長の乾杯、那覇港管理組合 普天間 信栄 参事監兼企画建設部長から那覇港のクルーズ・オブ・ザ・イヤー2014受賞報告と続き、沖縄県立南風原高等学校郷土芸能部による祝儀舞踊『かぎゃで風節』等の余興もあり、当名刺交換会は大盛況に執り行われました。

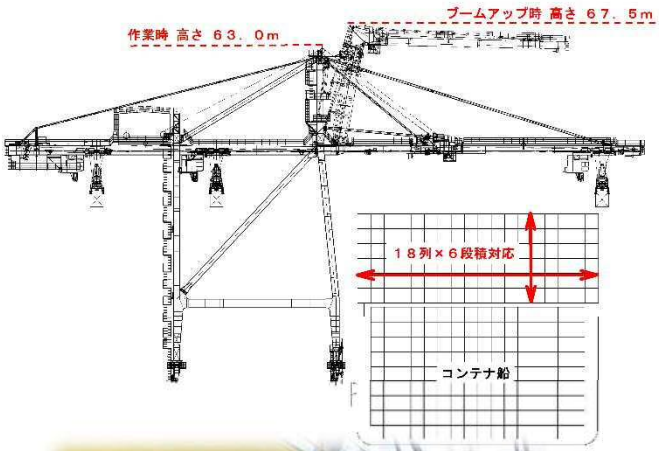
ガントリークレーン整備事業について

（企画建設部　建設課）

新設３号機・４号機

那覇港は沖縄県の経済社会活動を支える拠点港湾であり、利便性の高い港湾の整備及び拡充を推進することにより、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化及び物流の効率化を図るため、ガントリークレーンの整備を行っております。

コンテナ輸送が主流となっている国際物流においてガントリークレーンは必要不可欠であり、新港ふ頭那覇港公共国際コンテナターミナルにはこれまで平成 11 年に 13 列対応クレーン、平成 16 年に 16 列対応クレーンの計２基のクレーンが整備されており、今回３号機、４号機の新設クレーン２基の整備を行いました。新規追加のガントリークレーンは、高さ 67.5m、重量は 1,178ｔと大型で、オンデッキ 18 列×６段積みコンテナ船に対応でき、さらに災害時でも活躍できるよう、免震装置を備え、耐震性能が向上しております。



３号機クレーンは平成 26 年７月より供用開始しており、４号機クレーンにつきましても、平成 27 年４月の供用開始に向け、最終調整を行っております。

←地上４０ｍの高さにぶら下がる運転席

３号機稼働

三重城ふるさと海岸の紹介

（総務部業務課）

那覇港管理組合では那覇ふ頭地区より浦添ふ頭地区までの海岸、約３キロメートルを管理しています。今回は、その海岸の一つである三重城ふるさと海岸を紹介致します。

三重城海岸は、ふるさと海岸事業により平成 13 年に整備されました。琉球石灰岩による城壁や長堤をイメージして造成され、護岸には水に親しんでもらえるように水際まで下りる階段が設けられております。また、護岸上部には遊歩道が整備され、見晴らしも良いことから、観光客や住民の憩いの場として利用されております。

護岸の東側には三重城跡地があり、琉球王朝時代は海の玄関口の守衛的な役割を担っていました。現在でも当時の石垣等が残っています。かの有名な江戸時代の画家、「葛飾北斎」が琉球八景の一つとして、浮世絵画を描いたとことでも有名です。

三重城ふるさと海岸では海から打ち上げられるゴミも多く、ボランティアによる清掃活動が行われております。昨年は７月及び 11 月に NPO 団体による清掃活動が行われ、多くのボランティアの方々にご参加いただき、ペットボトルやガラス等のゴミを収集しました。ボランティアに参加された皆様には感謝申し上げます。

三重城ふるさと海岸は、ロワジールホテル那覇の横から入ることができます。遊歩道は三重城側うみそらトンネル換気塔に通じており、「波の上うみそら公園」、「波の上ビーチ」へと散策もできます。那覇港付近にお寄りの際は一度散策されてはいかがでしょうか。

NEWS! 3ヶ月連続初寄港

クルーズ船の寄港回数が堅調に増加している那覇港ですが、今年は3ヶ月連続で初寄港のクルーズ船がありましたので、ご紹介します。

1月　MINERVA(ミネルヴァ)

船社：スワン・ヘレニック　総トン数：　12,892 トン　全長：　135.55 m
旅客定員：　380 名　カテゴリー：カジュアル

日本へ初寄港した探検船

歓迎式典にて♪

2月　Balmoral（バルモラル）

船社：フレッド・オルセン・クルーズ・ライン　総トン数: 43,537 トン
全長：217.91 m　旅客定員：　1,309 名　カテゴリー：カジュアル

美しい船型の客船

☆記念盾を交換☆

3月　AZAMARA QUEST（アザマラ・クエスト）

船社：アザマラ・クラブ・クルーズ　総トン数：　30,277 トン　全長：　181.00 m
旅客定員：　694 名　カテゴリー：プレミアム

きめ細かなサービスが自慢

那覇港のおもてなし喜んでいただけました♪

那覇港管理組合議会議員紹介コーナー＜４＞

沖縄県（５名）・那覇市（３名）・浦添市（２名）の各議会から合計 10 名が選出されて構成されている那覇港管理組合議会議員を紹介するコーナーです。

今回は、赤嶺議長と下地議員のコメントを紹介します。

赤嶺昇議長
（沖縄県議会選出）

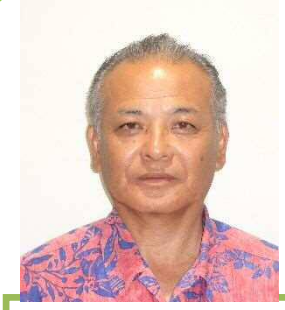
那覇港は、国内外のみならず宮古、八重山、周辺離島を結ぶ沖縄県経済社会を支える重要な港湾です。

近年は、大型クルーズ船の寄港が年々増加しており、今年は約 100 回の寄港予定があり、本県の観光振興に大きな役割を果たしています。

那覇港管理組合議会として今後も本県経済のさらなる発展をめざして翁長雄志県知事（那覇港管理組合管理者）の選挙公約に基づき、２２万トン超級対応のクルーズ船バースや、母港化をめざして全力で取り組んでまいります。

さらに、総合物流センターの整備を着実に進め、県内企業優先活用、育成を図ってまいります。

今後も県民各位のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



下地敏男議員
（那覇市議会選出）

那覇港管理組合は平成 14 年に設立され、これまでに港湾計画も見直しが進み、那覇港も老朽化・防災・減災対策や計画的・効率的な港湾機能の対策が急がれます。平成 21 年８月に那覇港まちづくりマスタープランが策定され、港湾計画の拡充が一層進んでおります。

本県の物流の 90%を担う民間港の役割がある一方で、国際クルーズ船の誘致に激しさを増し、寄港強化など課題は山積しております。また、沖縄 21 世紀ビジョン基本計画においても那覇港における港湾整備を進め、物流効率化のための施設整備、輸送時間の短縮、物流コストの低減に取り組む、とあります。さらに港湾の物流機能を活用した高付加価値型ものづくり産業の集積の促進があります。

国際・国内・県内の社会情勢が不安定で激しく変化する中にあっても、那覇港の果たす役割は大きいものがあり、本市、本県の経済発展、雇用状況の改善に努めなければなりません。

そうした中で、私は那覇港の抱える課題や問題点などの解決にむけて那覇港管理組合議員として全力で取り組んでまいります。

那覇港とぴっくす

2月3日

那覇港防災・減災計画検討委員会の開催

•東日本大震災の教訓を踏まえ、那覇港における災害時の課題や関係主体が推進すべき取組を整理し、港湾BCPを含めた防災・減災計画として構築するため、那覇港防災・減災計画検討委員会を設置しました。同委員会は、有識者や那覇港関係事業者及び行政機関を構成員として設置し、当組合の議場で開催した第1回目の会議では、委員長に琉球大学名誉教授の津嘉山正光氏を選出し、計画のあり方や今後の検討行程、那覇港の現状などを確認しました。

2月10日

翁長新管理者、初の議会対応

•平成27年第1回那覇港管理組合議会(2月定例会)が開催され、昨年12月に新たに就任した翁長雄志管理者にとって、初めての那覇港管理組合議会への対応となりました。緊張された様子もありましたが、那覇港発展のために全力を尽くすという決意表明をいただきました。

3月26日(木)

那覇港長期構想検討委員会の開催

•ロワジールホテル那覇にて、第3回那覇港長期構想検討委員会（会長：鬼頭平三）を開催しました。

•同委員会では、「長期的な方向性」、「将来構想において想定する需要」、「長期構想実現のためのステージプラン」、「ゾーニングと主要施設の配置（案）」について、委員の皆様からご意見を頂きました。

那覇港管理組合 今後の主な予定

〇「みなとオアシスなは」認定登録授与式＆うみそら公園波の上ビーチ海びらき（4月5日）
〇那覇港管理組合議会行政視察（5月中旬）
〇那覇港振興協議会総会（5月）

～那覇港管理組合議会のうごき～

2月定例議会の開催(2/10～14)

下記の議案が可決されました。
〇議案第1号：那覇港管理組合行政財産使用料条例の一部を改正する条例
〇議案第2号：指定管理者の指定について
〇議案第3号：平成26年度那覇港管理組合一般会計補正予算(第3号)
〇議案第4号：平成26年度那覇港管理組合特別会計補正予算(第1号)
〇議案第5号：平成27年度那覇港管理組合一般会計予算
〇議案第6号：平成27年度那覇港管理組合特別会計予算
下記の陳情について、採択されました。
〇平成26年陳情第1号：那覇港泊埠頭の乗船施設整備及び那覇港港湾機能再編計画見直しに関する要請

那 覇 港 写 真 館

クルーズの最先端に立つ人

那覇港に寄港中の海王丸

陸揚げ前の

ガントリークレーン４号機

＊＊＊＊那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先＊＊＊＊

那覇港管理組合総務部総務課(担当：福原)

〒900-0035　那覇市通堂町２番１号

TEL:098-868-2578　　FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊